

「恵庭市の後期高齢者の健康課題について」 R4データKDB分析

	現状と課題	今後の方向性
1	後期高齢者医療制度の加入者率は14.9%で、国保加入者率の16.9%と均衡しつつあり、今後、後期高齢者の医療費等が市政に及ぼす影響が高まる可能性があります。	一体的実施事業をさらに推進をします
2	「心疾患」「脳血管疾患」「腎不全」による死亡が多く、特に「腎不全」については標準化死亡比における国との比較で極めて多い状況です。	生活習慣病の重症化予防の取組を強化します
3	介護有病状況では、糖尿病、脂質異常症、がんを有している者の割合が高く、要介護認定者の半数以上が高血圧症を有しています。	
4	一人当たりの医療費のうち、入院は国と比べて11,020円、外来は390円多いです。また、受診率についても、外来が低く、入院が高い状況です。	発症予防の取組として、早期の医療機関受診を勧奨します
5	医療費の疾病別構成割合では、「狭心症」の占める割合が国と比べて0.7ポイント高い状況です。	引き続き要因分析を行います
6	後期高齢者健康診査の受診率は11.6%で、国24.8%と比べて大きく下回っています。	健診受診率向上に関する取組を行います
7	健診有所見者の割合を国と比べると、「血圧」「血糖・血圧」「血圧・脂質」の該当割合が高いです。	対象者抽出の範囲について改めて検証し、効果的な受診勧奨方法を検討し実施します
8	後期高齢者における質問票の回答状況は、国と比べて「健康状態が「よくない」「お茶や汁等で「むせたことがある」「6か月間で2~3kg以上の体重減少が「あった」「この1年間に「転倒したことがある」」の回答割合が高くなっており、QOLに影響を及ぼしている可能性が高い状況です。	・健口教室でのオーラルフレイル対策・低栄養の該当者への効果的な指導・骨粗鬆症予防の取組の推進等を行います